

# 光学ガラス

表1 光学ガラス素地の生産・出荷・在庫状況

デジタルカメラ市場の活況を受け、生産・出荷とも前年実績を大幅に上回った。

(単位:t、括弧内は対前年比%)

	2004年		2005年		2006年	
生産	7,509	(86.5)	5,683	(75.7)	7,604	(133.8)
出荷	7,938	(96.8)	6,396	(80.6)	9,080	(142.0)
在庫	1,268	(97.3)	1,629	(128.5)	1,641	(100.7)

(経済産業省 経済産業政策局 調査統計部 窯業・建材統計月報)

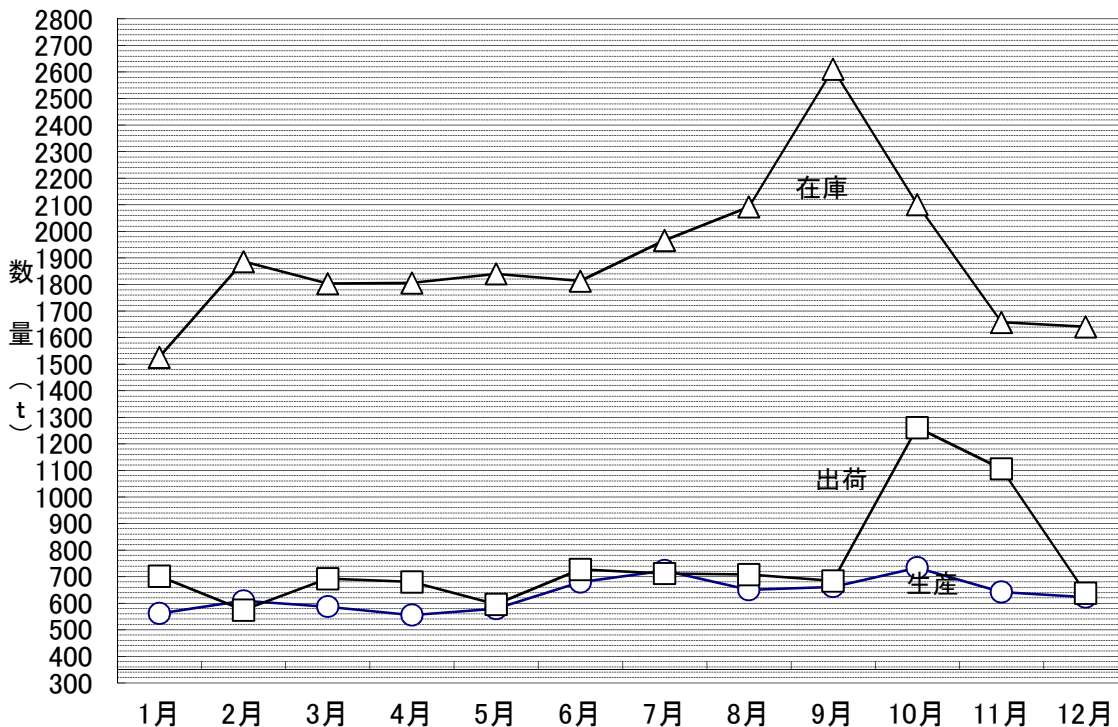


図1 2006年光学ガラス素地の国内生産・出荷・在庫量推移

デジタルカメラ市場の活況を受け、年後半の出荷が大幅に増加し、在庫は年初水準に落ち着いた。

表2 光学ガラス素地の輸出入状況(光学ガラス以外も少量含まれる)

(単位:t、括弧内は対前年比%)

	輸 入		輸 出	
2004年	5,489	(114.2)	4,610	(81.5)
2005年	4,718	(86.0)	5,667	(122.9)
2006年	4,963	(105.2)	6,395	(112.8)

(財務省貿易統計)

表3 カメラ・交換レンズの生産・国内出荷・輸出の推移

銀塩カメラ市場の縮小は止まらないが、交換レンズはデジタルカメラ用が増加している。

デジタルカメラは、国内出荷も含め伸びが回復、中でも一眼レフタイプが大幅に伸びている。

(単位:千台、括弧内は対前年比%)

		2004年		2005年		2006年	
35ミリ	生産	1,119	(49.1)	518	(46.3)	228	(44.0)
フォーカルプレ ン	国内出荷	116	(48.9)	56	(48.3)	25	(44.6)
シャッターカメラ	輸出	1,060	(50.2)	487	(45.9)	205	(42.1)
35ミリ	生産	8,562	(64.3)	4,585	(53.6)	1,308	(28.5)
レンズシャッター	国内出荷	479	(53.1)	243	(50.7)	101	(41.6)
カメラ	輸出	8,391	(64.4)	4,586	(54.7)	1,300	(28.3)
カメラ用	生産	5,513	(118.2)	7,288	(132.2)	8,974	(123.1)
交換レンズ	国内出荷	810	(110.5)	1,008	(124.4)	1,086	(107.7)
	輸出	4,543	(113.4)	6,055	(133.3)	7,684	(126.9)
デジタルカメラ	生産	59,405	(136.9)	63,576	(107.0)	77,633	(122.1)
	国内出荷	8,547	(101.3)	8,443	(98.8)	9,424	(111.6)
	輸出	51,219	(146.5)	56,323	(110.0)	69,557	(123.5)

(カメラ映像機器工業会統計)

表4 ビデオカメラの生産・販売状況

(単位:千台、括弧内は対前年比%)

	2004年		2005年		2006年	
生産	11,957	(100.7)	13,076	(109.4)	12,524	(95.8)
販売	12,315	(96.6)	13,251	(107.6)	12,766	(96.3)
在庫	200	(64.5)	196	(98.0)	191	(97.4)

(経済産業省機械統計月報)

表5 PPC複写機(デジタル、フルカラーを含む)  
の生産・販売状況

(単位:千台、括弧内は対前年比%)

	2004年		2005年		2006年	
生産	928	(98.8)	780	(84.1)	482	(61.8)
販売	1,854	(101.7)	1,881	(101.5)	1,560	(82.9)
在庫	63	(105.0)	59	(93.7)	37	(62.7)

(経済産業省機械統計月報)

(日本光学硝子工業会 事務局長 若杉 覚)